

摂食・嚥下障害対応指針作成 モデル事業について(第二報)



仙南保健福祉事務所
地域保健福祉部 成人・高齢班
技師 島影佳太郎

報告の流れ

1. 事業概要
2. 事業成果
3. 今後の展開



事業概要



はじめに

管内介護保険施設の摂食・嚥下障害対策の現状
医療機関で実施されていたりハ・ケアの継続
が難しい

専門機関等とのつながりが少ない

摂食・嚥下機能評価を6割が未実施

口腔内への意識に差が見られる

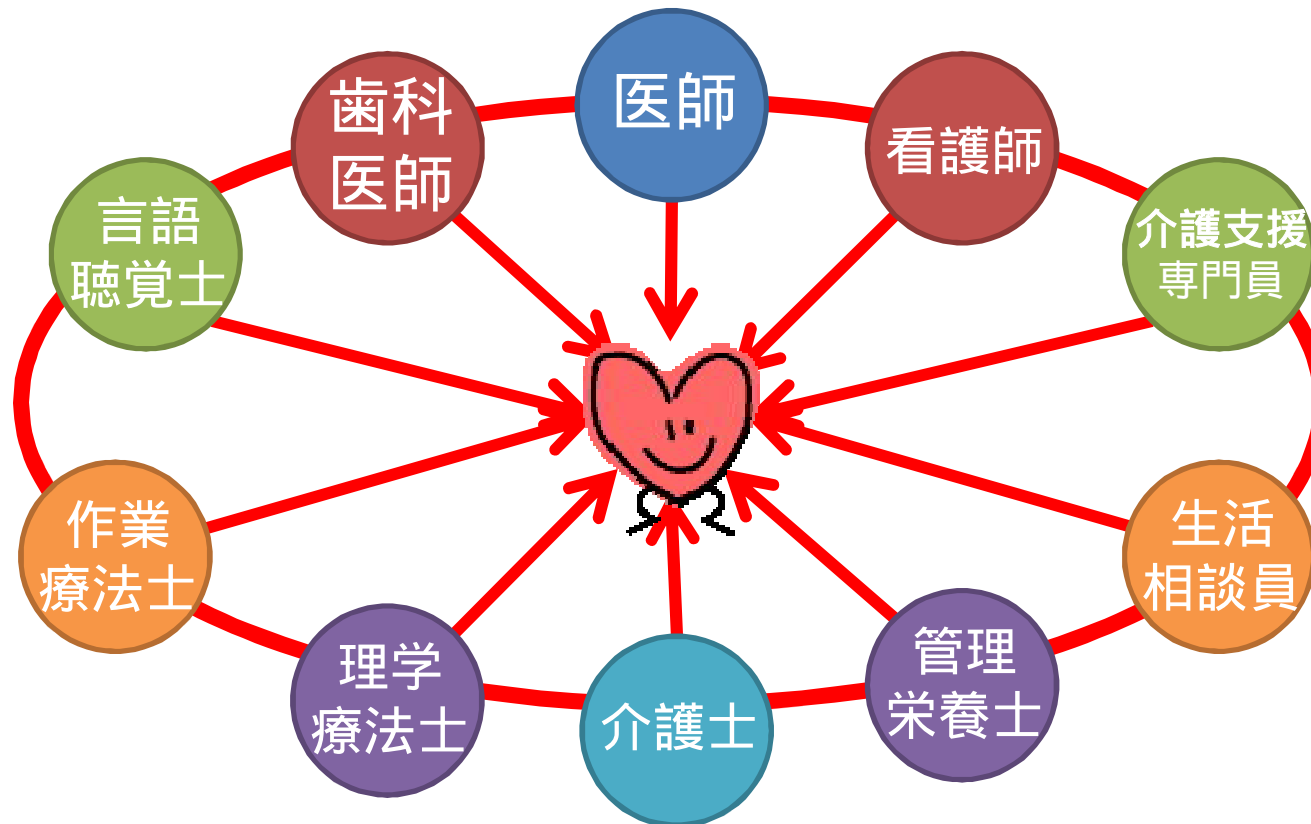
摂食・嚥下障害に関する施設内ガイドラインを
策定しているところがない



摂食・嚥下障害対応の指針を作成することで
～ にもアプローチできる！

はじめに

介護保険施設でのチーム



施設によってはいない職種も・・・

いない職種の役割は誰かがカバーするシステムを検討する必要がある

事業概要

目的

摂食・嚥下障害のケア・リハビリテーションを施設全体で取り組み、位置づけを明確にし、施設の指針を作成することで、摂食・嚥下障害に係るチームの機能を向上する。

事業概要

モデル施設

特別養護老人ホーム 常盤園(柴田町)

介護老人保健施設 清風(白石市)

内容(モデル施設)

1. 摂食・嚥下障害対応委員会の立ち上げ

2. 施設内の指針作成

A) 各職種の役割整理

B) 摂食・嚥下障害の

a. 発見 b. 嚥下食提供 c. 摂食介助

d. 口腔ケア e. 関係機関との連携

について施設方針の明確化

事業概要

実施期間

平成21年9月から平成22年9月まで

* 指針作成は平成22年2月まで

H21.9

H22.2

H22.9

指針作成

施設内での指針普及

評価指標

職員アンケート

入所者の状況調査

成 果



成果 モデル指針の完成

H21.9

H22.2

H22.9

指針作成

施設内での指針普及

介護保険制度(義務付けられているもの)
褥創発生予防の指針
感染症等発生予防の指針
介護事故防止・再発防止の指針
* 看取りに関する指針(看取り介護加算)

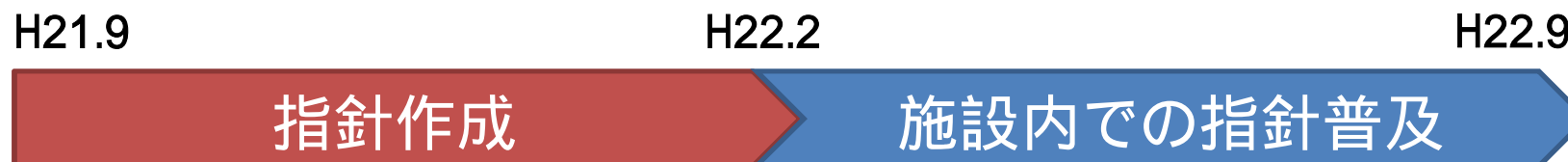
上記以外で施設でのケアの指針を策定したのは全国
ではじめての取り組み！！ (仙南保健福祉事務所調べ)

モデル指針のポイント(参考資料 モデル指針の概要参照)

基本構成は6項目

特別養護老人ホーム(生活の場), 介護老人保健施設(医
療的ケア多い)それぞれの特徴を付加

成果



作成開始
H21.9

指針配布
H22.3

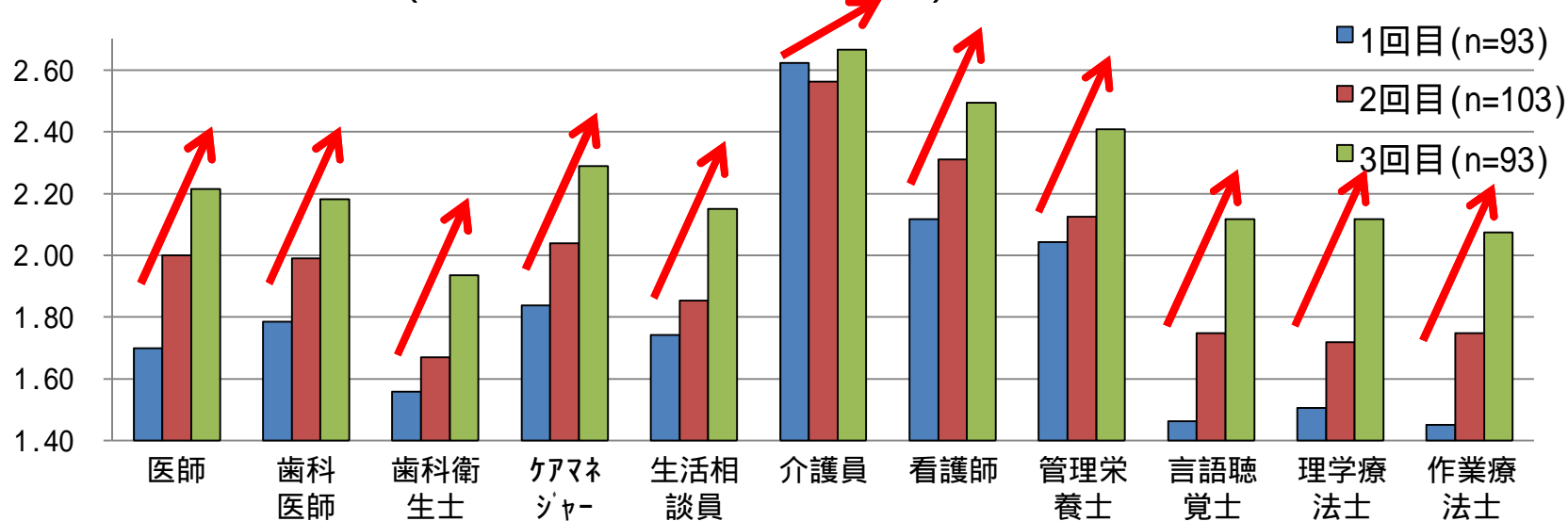
配布から
6ヶ月後
H22.9

全職員を対象に、摂食・嚥下障害対応の意識・知識・行動の変化をみるため **アンケート調査** を実施

成果

他職種への役割理解向上

各職種の役割理解度(施設スタッフアンケートより)



- 全ての職種において、1回目と比較し、3回目の点数が大きく増加。
- 指針作成の検討作業と完成した指針を通して、他職種の役割について理解を深めることができた。

その他(施設職員アンケートより)

- 摂食・嚥下障害に対する意識の向上
- 摂食・嚥下障害に対する支援方策の意識・知識・行動の浸透
- チームアプローチに対する意識・知識・行動の浸透
が確認された。

自由意見(一部)

- 食事の変化を気付けるようになった。(介護員)
- 職員で話し合う機会が多くなり、食事に対する意識が変わった。(相談員)
- 役割が明確化され、問題を絞り込むことができた。(管理栄養士)
- 施設全体で取り組み, 全体での話し合いを多くもてたことがとてもよかった。(看護師)

なんとなく理解している気になっていた役割

整理することでチームアプローチが円滑に！

成果

H21.9

指針作成

H22.2

施設内での指針普及

H22.9

指針配布
H22.3

配布から
6ヶ月後
H22.9

チームアプローチを意識した取り組みで、施設入所者に与えた影響をみるため**摂食・嚥下障害リスクスクリーニング**を実施

参考資料 摂食・嚥下障害リスクレベルチェックシート参照

成果

リスクレベルの維持・改善

摂食・嚥下障害リスクスクリーニング(2回実施)

スクリーニング
継続実施者 133名/163名
(全入所者)

	人数	割合
改善	21(5)	15.8%
維持	96(17)	72.2%
低下	16	12.0%

全体の

88%

* ()は胃瘻,経鼻経管栄養使用者

- スクリーニング結果を活用し、リスクを抱える入所者の状況に対して、適切なケアが提供されたことで、リスクレベルが維持・改善¹⁵

まとめ

- 施設での摂食・嚥下障害に係るチームの機能向上を目的に実施
- 各職種の役割と役割遂行のために必要な知識・技術について整理することで指針が完成
- 指針作成作業を通して、施設職員の摂食・嚥下障害対応についての意識・知識・行動が向上することで、入所者のリスクレベルが維持・改善

今後の展開



今後の展開

H21.9

指針作成

H22.2

施設内指針普及

H22.9

管内施設へ普及

管内全ての介護保険施設へ モデル指針を普及！！



施設内で検討の場を共有し、モデル指針を
参考に、オリジナルの指針を策定

注：コピーしても効果はありません。

今後の展開

H21.9

H22.2

H22.9

指針作成

施設内指針普及

管内施設へ普及

普及方策

指針作成へのモチベーション向上を図るための事業報告・研修会の実施。

- ・仙南高齢者福祉施設連絡協議会での報告
- ・仙南栄養士会研修会での報告
- ・摂食・嚥下ケア推進研修会の開催(H23.1)

今後の展開

H21.9

H22.2

H22.9

指針作成

施設内指針普及

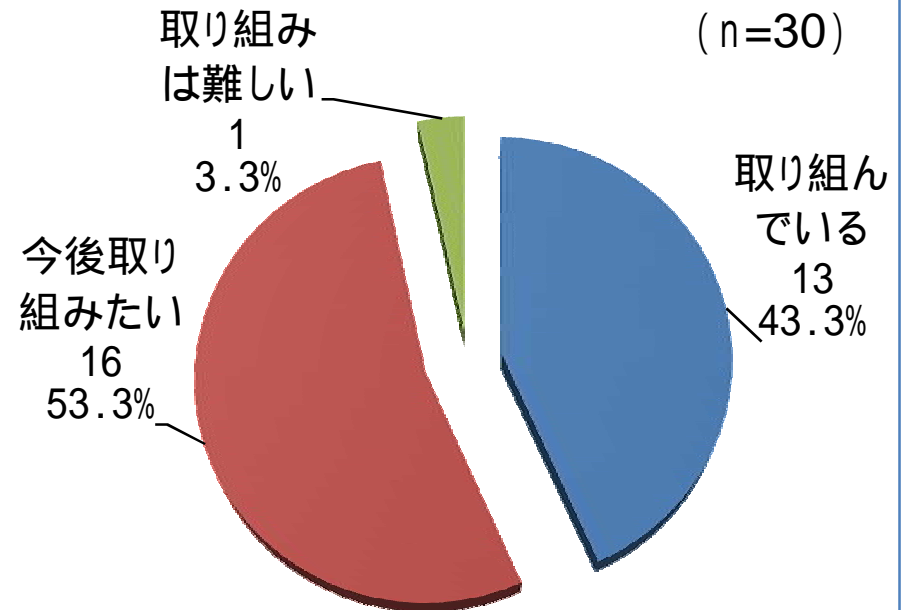
管内施設へ普及

摂食・嚥下ケア推進研修会(H23.1)



チームアプローチのルール化について

(n=30)



今後の展開

H21.9

H22.2

H22.9

指針作成

施設内指針普及

管内施設へ普及

普及方策

指針作成を効率的・効果的に行うためのノウハウの提供。

- ・事業報告書の作成，事務所ホームページ掲載
- ・専門情報の提供

今後の展開

H21.9

H22.2

H22.9

指針作成

施設内指針普及

管内施設へ普及

普及方策

バックアップ体制の強化のために管内の資源を活用。

- ・既存の医療資源(医科・歯科)との連携
- ・宮城県南栄養サポートネットワーク(県南NSN)
- ・仙南言語聴覚士会, 仙南栄養士会等の職能団体

ご清聴ありがとうございました。

事業報告書 は仙南保健福祉事務所のホームページに掲載しております。
興味のある方は是非ご参照ください。

ホームページアドレス

<http://www.pref.miyagi.jp/sn-hohuku/hanbetu/seijin/chiikireha.htm>

